

Nature のコンテンツにコメントを!

Content rules

2010年3月25日号 Vol. 464 (466)

Nature にオンラインコメント投稿機能が導入された。

本誌掲載のすべての記事と論文について、ウェブ上で議論をする道が開かれた。

Nature 読者にふさわしい質の高い対話を期待する。

オンラインソーシャルメディアの愛好家が頻繁に繰り返すお題目は、「対話は王様」というフレーズだ。しかし、私たち Nature の編集者とライターは、まずコンテンツに忠誠を誓う傾向が強い。Nature のコンテンツに対価を支払う読者にとって、有益で刺激的なコンテンツとなるよう、リサーチ、執筆依頼、選定、創造、あるいはその他のあらゆる方法で、コンテンツの価値を高めることに労力を費やす。

しかし、対話という行為が、こうした我々の努力に新たな価値を生み出すことは明らかだ。そこで、Nature は、読者が Nature のいかなるコンテンツにも直接応答できるオンラインコメント機能を、2010年3月25日号の週から導入した。

コメントの投稿は、Nature にとって初めてのことでない。Nature のオンラインニュースサービス (www.nature.com/news) では、かなり前からコメントの投稿を認めており、最近のコメントを読めば、読者の意見の活気や興味深さがわかる。例えば、中国での Google に関する記事 (go.nature.com/FJ6QTM) やメキシコで解雇された研究者の記事 (go.nature.com/t75Zn7) を読んでほしい。

ただし、Nature に掲載される研究論文については、オンラインでの議論は、これよりは相当に控えめなものとなる可能性が高い。既にコメント投稿を許可した出版社の経験に照らせば、次のようなことが考えられる。そうなるのもたぶん無理はない。まず、研究者の中には、論文誌のウェブサイトという、かなりフォー

マルな場で、論文に対するコメントを投稿することに威圧感を覚える人があるはずだ。また、無用のリスク、例えば同僚の感情を害したり、自らの不用意なコメントによって後々悩まされたりするのは嫌だと考える人もあるはずだ。それよりもっと重要な点は、コメント投稿者にとって、そのコメントが正式な学術的功績とならないため、コメントの作成が時間の無駄のように思われる点である。

こうした理由から、Nature では、これからも引き続き、電子版の Brief Communications Arising のセクションで論文に対する正式な応答を掲載していくが、このセクションに掲載される小論文については、査読が行われ、高い受理基準が適用されることにした。

新たにコメント機能をもたせたものについては、読者に適用される受理基準を2本立てとした。News & Views 記事、Review 論文と一次研究論文に対するコメントについては、審査を行った後、ウェブサイトでの掲載を許可する。

[Report this comment](#) Posted by: | 2010-03-24 10:10:07 PM

Hong Kong is part of China, but under different law(so called "One country, two systems". There is little, if any, censorship on press and internet in Hong Kong. #9829

[Report this comment](#) Posted by: | 2010-03-25 02:13:31 AM

I think the greatest achievement of the Chinese Communist Party is to transform the thinking of ordinary Chinese citizens in that they now firmly believe the government = country. Any entities, foreign or domestic, that rise against the central government is now labeled as against the country. Hence, no enemies of the government will succeed because patriotic citizens won't allow it. #9891

[Report this comment](#) Posted by: | 2010-03-27 03:54:40 AM

Add your own comment

This is a public forum. Please keep to our [Community Guidelines](#). You can be controversial, but please don't get personal or offensive and do keep it brief. Remember our threads are for feedback and discussion - not for publishing papers, press releases or advertisements.

You need to be registered with Nature to leave a comment. Please log in or register as a new user. You will be re-directed back to this page.

審査の目的は、法的問題や猥褻性が明らかに認められる投稿や不当な主張であることが明白な投稿のみを排除することにある。例えば雑学的知識を披歴する投稿であっても、Nature としては禁止するつもりはない。しかし、批判的精神をもつ Nature の読者が相手であることを忘れずに、それにふさわしい高いレベルの投稿を期待したい。そうしたコメントが数多く寄せられることで、無益情報の比率を下げ、有益情報の占有率を高めていきたいと願っている。

その他のセクションに関するコメントについては、オンラインニュースサービスと同様に運用される。投稿されたコメントは直ちにウェブサイトに掲載され、事前のモニタリングや審査はしない。ただし、上で述べたのと同じ理由から、読者から確かな反対があれば、コメントは速やかに削除する。

なお、コメントを投稿する場合には、現行の英国名誉毀損法による規制を免れないことにも留意してほしい。同法によれば、名誉毀損に関する重い立証責任を負うのは、コメントの対象となって訴訟を提起した人ではなく、コメント投稿者本人である。同じことが米国でも原則的に適用されている。なお、今回実施されるアプローチについては、数か月後に再検討する予定である。

こうしたことを踏まえたうえで、読者の皆さんに、多くのコメント投稿をお願いしたい。これによって科学を巡る対話がより充実することを望んでいる。

(翻訳：菊川要)